024096	浮浪者：村瀬新吉著作　第２輯	村瀬新吉	言語	2	56	28
024097	兵士の生活	鈴木小兵	言語	2	56	28
024098	褌	福富織部	言語	2	56	28
024099	蜘蛛：探偵秘録	加茂川乱風	言語	2	56	28
024100	短銃：探偵秘録	加茂川乱風	言語	2	56	28
024101	捕縄：探偵乱闘	加茂川乱風	言語	2	56	28
024102	満洲国現政治の実状	岡津泰正	言語	2	56	28
024103	三井財閥とは何か？	久野岩雄	言語	2	56	28
024104	宮城裁判長に贈る日本共産党公判に就て	与呉鋼二	言語	2	56	28
024105	飯の社会学	吉方一広	言語	2	56	28
024106	飯の社会学	吉方一広	言語	2	56	28
024107	メーデー	滝田銀三	言語	2	56	28
024108	黙示する人：長篇小説	中村能二	言語	2	56	28
024109	黙示：長篇小説	中村能二	言語	2	56	28
024110	憲政会の醜態を国民に訴ふ	広田幸松	言語	2	56	28
024111	政友本党の醜態を国民に訴ふ	広田幸松	言語	2	56	28
024112	少女群像	元田喜代子	言語	2	56	28
024113	妖魔と戦ふ：「統帥権干犯より五・一五事件へ」	平田敏郎	言語	2	56	28
024114	労働運動の話：ストライキ戦術	清野喜代志	言語	2	56	28
024115	社会思想講話	向山敏也	言語	2	56	28
024116	労働問題雑観	向山敏也	言語	2	56	28
024117	真日本主義：加藤聯立内閣に対する抗議	藤本芳太郎	言語	2	56	28
024118	戦闘記	藤本芳太郎	言語	2	56	28
024119	王仁蒙古入記	上野公園	言語	2	56	28
024120	我を救ふ者は何処にありや	藤原五郎七	言語	2	56	28
024121	是清翁遺訓：日本国民への遺言	大久保康夫	言語	2	56	28
024122	戦争	大久保康夫	言語	2	56	28
024123	東京電灯会社の危機：若尾系の没落	越智秀一	言語	2	56	28
024124	改正新税法の要綱	高田正康	言語	2	56	28
024125	久原・中島の動向に絡み時弊を衝く	伊藤伯堂	言語	2	56	28
024126	改正市町村制要論	桜井繁治	言語	2	56	28
024127	改正府県制要論	桜井繁治	言語	2	56	28
024128	改正市町村制要論追補	桜井繁治	言語	2	56	28
024129	改正府県制要論	桜井繁治	言語	2	56	28
024130	アジアの危機と日本：アジア経済ブロツク結成の提唱	柳正義	言語	2	56	28
024131	政局はどうなる	辰巳吉次	言語	2	56	28
024132	次期政権の展望	川部真次	言語	2	56	28
024133	中学教育の諸問題	宮崎諦寛	言語	2	56	28
024134	改造内閣の舞台裏を見る：これからどうなるか？	早川洗	言語	2	56	28
024135	現代社会悪化救済と生活保証	金井博治	言語	2	56	28
024136	重大転機に立つ三井三菱の再検討	滝川澄人	言語	2	56	28
024137	近衛内閣改造の顛末と今後の日支事変	大川庸造	言語	2	56	28
024138	家庭実用染色工芸	高橋岩次郎	言語	2	56	28
024139	実用染色工芸	高橋岩次郎	言語	2	56	28
024140	裏面を語る：面白い経済常識　財界打明け話	長木桂一郎	言語	2	56	28
024141	科学国策論	石井悦朗	言語	2	56	28
024142	科学及産業の発展を基調とせる社会政策の提唱	石井悦朗	言語	2	56	28
024143	英雄民族論	石井悦朗	言語	2	56	28
024144	経済政策論	石井悦朗	言語	2	56	28
024145	日本精神と国語教育	宮本哲儡	言語	2	56	28
024146	なぜ日・独・伊軍事同盟は必要か	梶原景親	言語	2	56	28
024147	マルクス主義討伐論：弁証法的人生社会観の排撃	須藤詩登美	言語	2	56	28
024148	国癌切開	金振九	言語	2	56	28